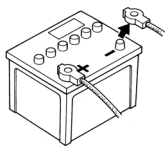


取付説明書(KD-DV6100/KD-DV5100) JVC

取り付ける前に

●作業中のショート事故防止のため、必ずバッテリーの^{マイナス}端子のコードを外しておいてください。

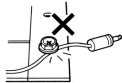


●安全運転のため運転の妨げにならないところに、また本機の放熱効果が十分発揮されるようなところに取付けてください。

●取り付ける前に仮接続をして本機が正しく動作するか確認してください。

●取り付けは必ず付属の部品(ネジなど)を指定通り使用し、しっかり固定してください。指定以外の部品を使用しますと内部の部品がこわれたり、ゆるんで外れたりすることがあります。

●ネジやナットを締めるとき、他の配線をはさみ込まないようにご注意ください。



●車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意してください。

●取り付けが困難な場合はお買上げの販売店にご相談ください。

●車種によっては、コンソールボックスなどに取り付けるとき、取り付けキット(別売り)を必要とすることがあります。この場合の取り付け方は、取り付けキットの説明書をご覧ください。なお、インコンソールに取り付けができない車種もありますので、お求めの際、ご自分の車種・年式に適合するかお買上げの販売店でお確かめください。

ご注意

- 取り付け金具(車のブラケット)を本機に取り付ける際は、必ず付属のネジ(長さ8mm)をお使いください。8mm以上のネジを使用しますと故障の原因になります。
- 本機を取り付けるときは、水平な場所を選びパーキングブレーキをかけ、エンジンキーを「OFF」にしてから行なってください。
- 本機は、DC12V マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。
- 配線をするときは、車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電流容量オーバーにより火災の原因となります。

取り付け方法

1. 純正のオーディオを外す

2. 本機に純正の取り付け金具を取り付ける

3. 接続する(裏面を参照)

4. 車両に固定する (背面のファンの通風を妨げないように取り付ける)

イラストはトヨタ車の一例です。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

アース線を車体の金属部分に確実に接続してください。

※車の金属部分についてのネジを使用してください。

塗装してあるときは、はがしてください。

取り付け用付属ネジ
①または②

純正の取り付け金具

ご注意

必ず、本機の下に取り付けてください。

ポケットなどを外したときのネジ

1. で外した純正ネジ

取り付け用付属ネジ
①または②

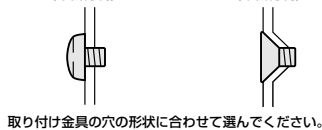
純正の取り付け金具

1. で外した純正ネジ
ポケットなどを外したときのネジ

〈取り付け用付属ネジ〉

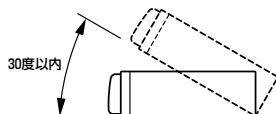
① バインドネジ M5 × 8 (本機付属)

② 皿ネジ M5 × 8 (本機付属)



〈本機の取り付け角度〉

傾きは30度以内で取り付けてください。

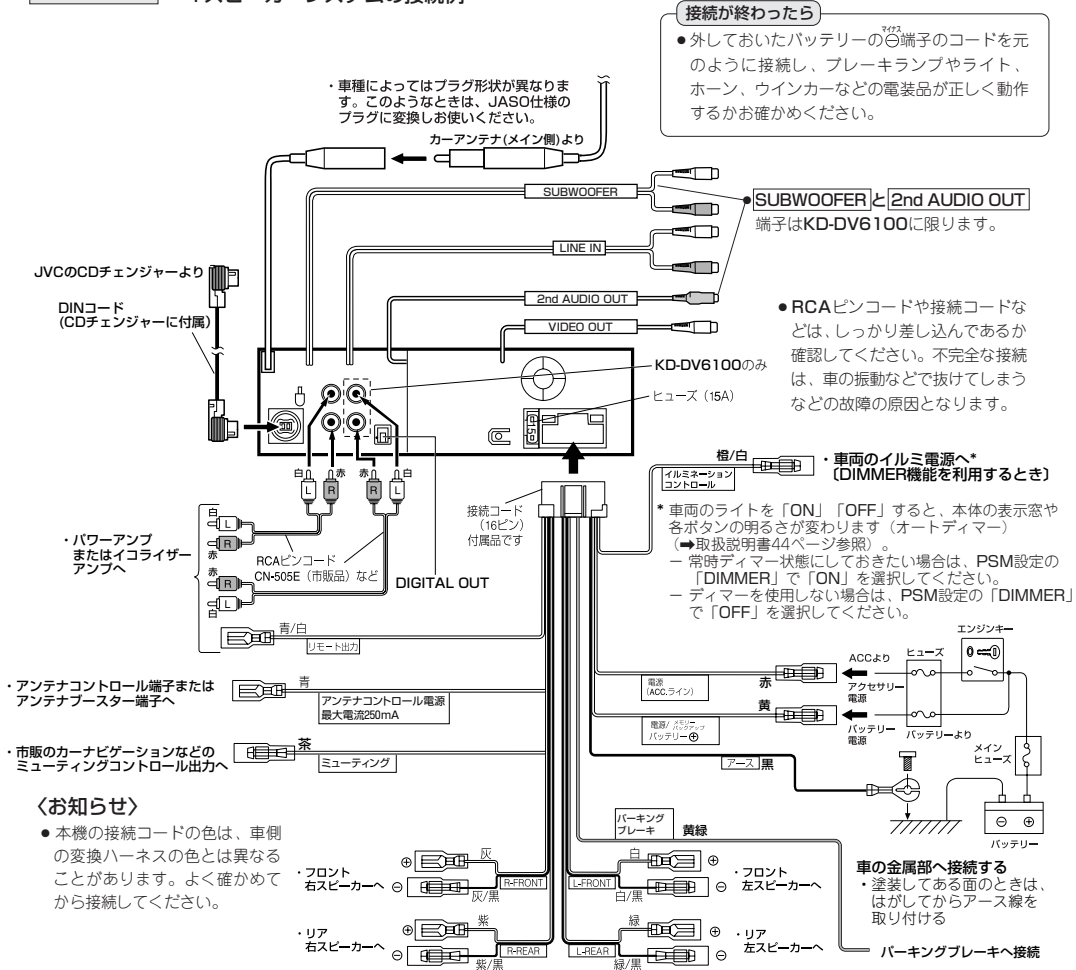


- 外したネジ類は紛失しないように大切に保管してください。
- 取り付け金具のツメがじゃまになるときは、折り曲げて平らにします。



接続のしかた —必ずお読みください。—

基本の接続 — 4スピーカーシステムの接続例 —



〈お知らせ〉

● 本機の接続コードの色は、車側の交換ハーネスの色とは異なる場合があります。よく確かめてから接続してください。

AMP GAINについて

スピーカーを破損しないために、接続しているスピーカーの最大入力ワット数に合わせて、PSM設定の「AMP GAIN」を次のいずれかに設定してください (→取扱説明書45ページ参照)。

● 最大入力50W以下のスピーカーをつなぐとき

1 [SEL] を2秒以上押す。

2 [AMP GAIN] を押して「AMP GAIN」を選ぶ。

3 回転ボリュームを回して「LOW PWR」に設定する。

(KD-DV6100の場合、本機を外付けアンプのプリアンプとして使用するときは「OFF」に設定します)

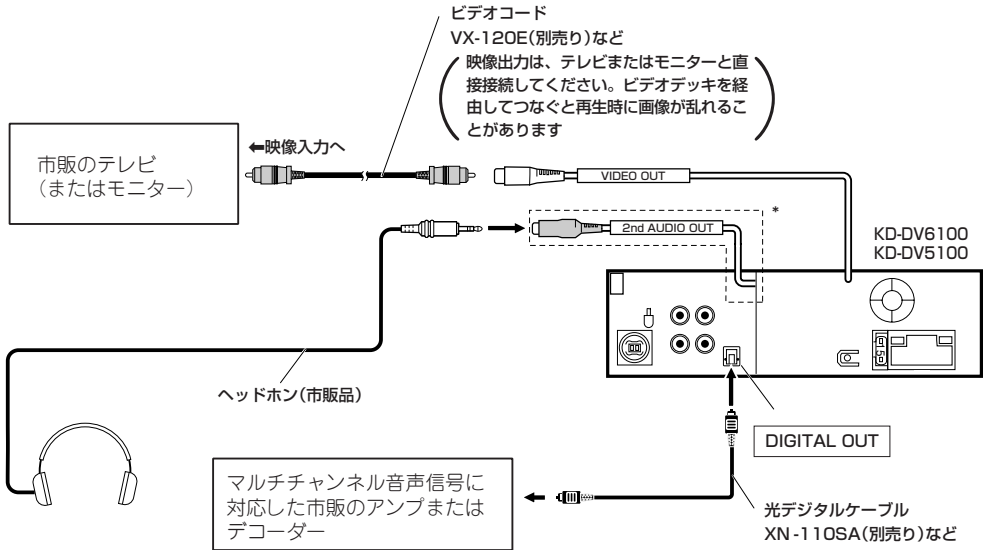
→ HIGH PWR : スピーカーの最大入力50Wを超えるとき (お買い上げ時の状態)

↕ LOW PWR : スピーカーの最大入力50W以下のとき

↕ OFF (KD-DV6100のみ) : 本機をプリアンプとして使うとき

4 [SEL] を押す。

DVDビデオやビデオCDを楽しむために



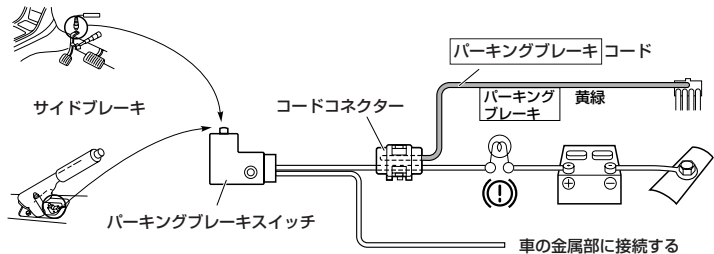
*2nd AUDIO OUT (KD-DV6100のみ)

デュアルゾーン操作時に、再生しているディスクの音声を聞く場合に市販のヘッドホンと接続します(→取扱説明書 42ページ参照)。

- DIGITAL OUT端子からは、デジタル音声信号(リニアPCM、ドルビーデジタル、DTS)が出力されます。詳しくは取扱説明書59ページの「背面端子からの音声出力について」をご覧ください。

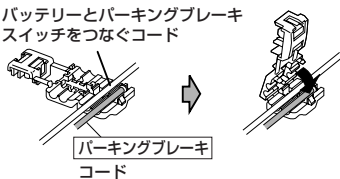
サイドブレーキとの接続

- 交通安全のため、必ず「パーキングブレーキ」コードを「パーキングブレーキスイッチ」に接続してお使いください。
- コードコネクタのつなぎかたは、以下の「コードコネクタのつなぎかた」をご覧ください。



コードコネクタのつなぎかた

バッテリーとパーキングブレーキスイッチをつなぐコード



・コネクタの金属部分が、両方のコードに接触するようにしてください。

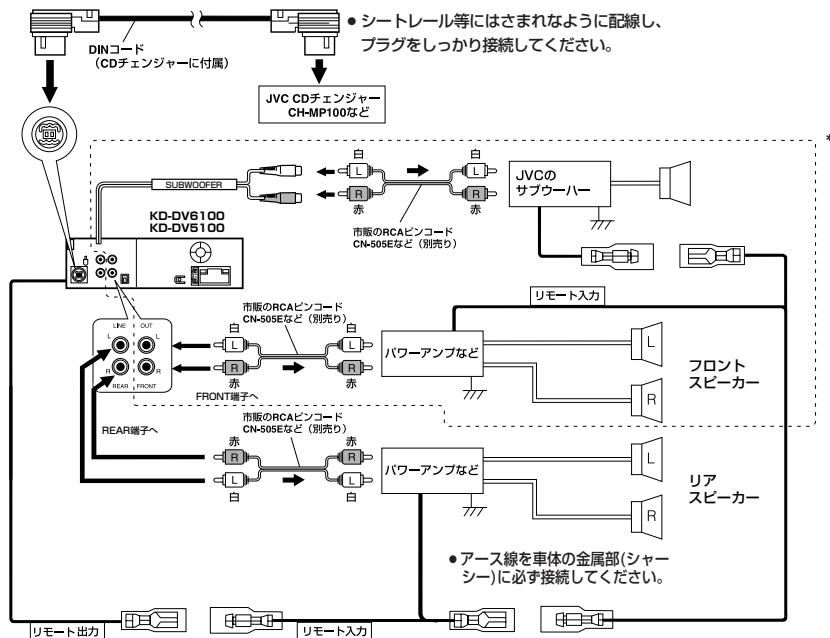
・ペンチで固く締める。

接続のしかた (つづき)

システムアップする場合 - 取り付けが終わったら各機器で、リセットの操作をしてからお使いください。 -

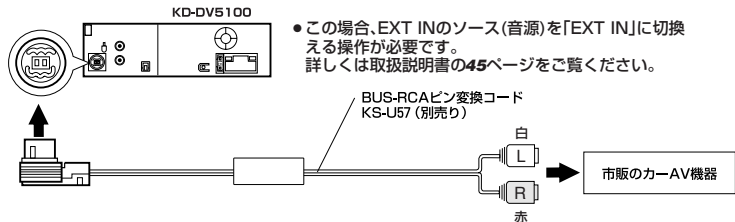
●外部機器との接続

※CDチェンジャーの取扱説明書も併せてご覧ください。

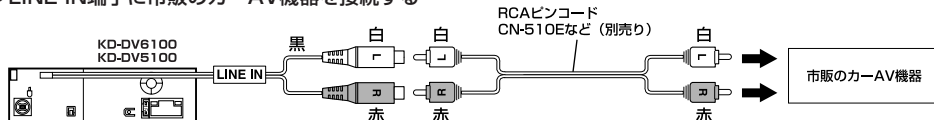


*SUBWOOFERとFRONT LINE OUT端子はKD-DV6100に限ります。

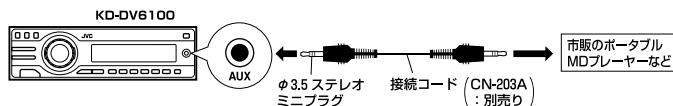
●CDチェンジャー端子に市販のカーAV機器を接続する(KD-DV5100のみ)



●LINE IN端子に市販のカーAV機器を接続する



●フロントAUX端子に市販のポータブルMDプレーヤーなどを接続する(KD-DV6100のみ)



〈お知らせ〉

- **取り付けキットを別売りしています。**

ヨーロッパ車に取り付けるときは、別売りの取り付けキット:KS-K1412が必要になります。お買い上げの販売店にご相談ください。

- **アンテナコントロール電源の接続について**

電動アンテナ装備車またはアンテナブースター装備車の場合、車両側のアンテナコントロール端子と本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)を接続してください。

また、一部の車種によってはアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ていることがあります。本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)をこの端子に接続してください。

- **ダイバーシティアンテナ装備車に取り付ける場合**

カーアンテナの太いプラグの方(メイン側)のみを本機に接続してください。

- **車種(純正アンブ・アンテナブースター付きの車両)によっては、ラジオ以外のソース(音源)に切換えると音が出ないことがあります。**

このようなときは、本機の「リモート出力」コード(青/白)を車両側の純正アンブ・アンテナブースター端子に接続してください。

- **市販のカーナビゲーション等と接続したとき**

市販のカーナビゲーションのボイスコマンド入力時または音声ガイド中に、本機の音声を一時的に消音(ミュート)することができます。この場合、本機の「ミュート」コード(茶)をミュートコントロール出力に接続します。このあと「SELボタンを使った各種設定と調節」で「MUTING 1」または「MUTING 2」に設定します(→取扱説明書 44ページ参照)。

ご注意

- **「ミュート」コード(茶)の接続について**

市販の全てのカーナビゲーションシステムとの接続で、動作を保証するものではありません。

万一、正しく動作しないときは、接続を外してください。

- **使用しないコードは、ビニールテープなどで絶縁しておいてください。**

- **接続が終わったあとの動作確認について**

まず車のエンジンをかけてから、本体のリセットボタンを押してください(→取扱説明書 54ページ参照)。そのあと本機の電源を入れて正しく動作するか確かめください。エンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」の状態では電源を入れることができません(→取扱説明書 12ページ参照)。

それでも正しく動作しないときは、取扱説明書 54~56ページの「故障かな?と思う前に」をご覧ください。どうかお調べください。

安全上のご注意

—はじめにお読みください。—

警告

本機はDC12V マイナスアース車専用です。



・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

配線作業中は、バッテリーの^{マイナス}端子のコードを外す。



・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にしない。



・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げるなど運転に支障をきたす場所に、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない。



・交通事故やけがの原因となります。

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。



・交通事故や火災の原因となります。

取り付けやアース線を接続する場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しない。



・これらを使用しますと制動不能や発火・事故の原因となります。

エアバックのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない。



・エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

注意

本機取り付けや取り外し・配線には、専門技術と経験が必要です。



・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
・場合によっては、本機が熱くなることがありますので火傷やけがに十分ご注意ください。

必ず付属の部品を指定通り使用する。



・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避ける。



・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火・故障の原因となることがあります。

必ず、パーキングブレーキコードを接続してお使いください。



・交通安全のため、走行中はモニターの映像が表示されず、音声のみとなります。また停止状態でもサイドブレーキを引かないと、映像は表示されません。

本機を不安定なところに取り付けない。



・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

振動の多いところなど、しっかり固定できないところへの取り付けは避ける。



・外れて事故やけがの原因となることがあります。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正しく動作することを確認してください。

車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線はさみ込まないように注意する。



・断線やショートにより、事故・感電・火災・故障の原因となることがあります。